

6月25日(月)

## ジェットコースター

聖書朗読 詩篇 117編

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。  
イザヤ 40:31

我が家の子どもたちが十代の頃、私は自分がジェットコースターに乗っているようだとよく思ったものです。子どもたちは、やっはいけないと教えられたはずのことをやり始め、そんな彼らのいたずらに私はどう対処したらよいのか、全く備えができておらず、ショックを受け、手の施しようもなく、どうしたら良いのか分からず、ただ呆然としていたものです。神様への自分の信仰でさえ疑ってしまうこともありました。けれども、神様以外のどこに助けを求めるところがあったでしょうか。

旧約聖書の中で、神様の選ばれた民の時代と彼らの行いについて学びましたが、彼らの姿勢はいかに頑なで、強情で、自己中心的であったことでしょう。神様に従うという自分たちの約束を守り続けることが、いかに難しかったことでしょう。神の民らの振る舞いは、まるで我が家の子どもたちのようでした。神様がどれほど彼らに落胆されていたことか、やっ最近少し分かってきた気がします。どんなに神様が御愛を注ぎ、心に留めてくださっても、彼らは神様に従おうとしなかったのです。

目まいがするような絶望の淵にあった「ジェットコースター」時代の私を支えてくださったものは、聖書のみことばでした。私は、みことばを学び、待つことを教えられました。最後には、神様が恵みを与えてくださいます。待つことは、決して無駄ではないのです。

*神への信仰を持ち、心から信頼し、恐れてはならない。*

*神はすべてを満たされる*

*神のご契約のすべてを*

——ブライアン・オースチン・リース

讚美歌 453

祈り 慈しみ深い天のお父様。あなた様の忍耐と私たちが学びを得るみことばを感謝します。疑いと恐れを抱く私たちをお赦しください。  
あなた様の御子、イエス様のお名前により祈ります。

キャロリン・イエイトス

ノースカロライナ州 ラリー

## 今日の力

2012年6月25日~7月1日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月26日(火)

## たくさんのお子様たち

聖書朗読 詩篇 127編

若いときの若さはまさに勇士の手にある矢のようだ。 詩篇 127:4

私の母は9人兄弟で、母の父親である私の祖父は、9人の活発な子どもたちの世話をよくしていました。近所の人たちからは、「いつも赤ちゃんを抱っこして、足には子どもが誰かしらまとわりつき、腰のポケットにはいつもオムツがぶら下がっているね」と言われていたようです。祖父は聖書に忠実で、聖書を自ら進んで学び、何かをするときにはいつも子どもたちと一緒にやっていたようです。

母は私と二人のときはいつも「ここだけの秘密だけど、おじいちゃんの一番のお気に入り、お母さんだったのよ」と言っていました。祖父がなくなった後、母の兄弟の誰もが、「自分が一番のお気に入りだった」と確信していたことを知りました。子どもたちがみなそれぞれ、大切な存在であり、愛されているのだと感じさせることが出来たとは、祖父は、何という賜物をもった父親だったことでしょう。

「愛されている」と相手に思わせることができるのは、素晴らしい賜物ではないでしょうか。少し前のことですが、教会に一度も足を運んだことのないある女性が私にこう言いました。「神が私のことを気にかけているなんて思わないわ」と。この女性は自分の父親を知らなかったため、「父の愛」というものをなかなか理解できなかったのです。十字架に架けられたイエス様のいのちの犠牲、私にとってはそれはかけがえのないものですが、彼女にとっては、理解を遥かに超えたものだったのです。けれども、私たちが周りの人々に愛を示すことによって、その愛が、私たちすべての愛なる神であり父なるお方から来るのだということを、理解してもらうことができるのです。

讃美歌 431

祈り 慈しみ深き神様。無条件に私を愛してください感謝します。どうか周りの人たちにあなた様の愛を示し、あなた様に栄光を帰すことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ラニタ・ブラッドリー・ボイド  
ケンタッキー州 フォットトーマス

6月27日(水)

## 神様、「笑い」をありがとう

聖書朗読 箴言 15:13~17, 30

陽気な心は健康を良くし、陰気な心は骨を枯らす。 箴言 17:22

「笑うこと」、「笑いの能力」は、神様から与えられた賜物です。「笑うこと」は、聖書にあるもので、幸せで、健康に恵まれ、充実した意義ある人生を送るための神様からの処方箋です。聖書にはこのような教えがあります。『すべての営みには時がある。・・・泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。』（伝道者の書3:1, 4）

パウロは、私たちにこう諭しています。『いつも主にあって喜びなさい。』（ピリピ4:4）。さらに、この賢明な弟子は、『悩む者には毎日が不吉の日であるが、心に楽しみのある人には毎日が宴会である。』（箴言15:15）としています。医学関係者によれば、「笑うこと」は良薬であり、「最善の薬」と称する人もいます。

ある匿名のライターの記事に、こうありました。「彼は成功を収めた。その人は充実した人生を送り、よく笑い、多くの人に愛を注いで生きた人物だ」。私たちも日々「笑い薬」を投与して、神様に感謝を捧げ、祈りましょう。

*主よ。私にユーモアのセンスをお与えください*

*ユーモアを理解できる恵みをお与えください*

*人生から幸せのかけらを少し取って*

*周囲の人たちに分け与えるために*

——— トーマス・H.B・ウェブ

讃美歌 130

祈り 愛なるお父様。笑いの賜物を感謝します。あなた様のあらゆる恵みを感じて受け、私たちは幸せです。いのちが与えられたこと、そして、永遠の救いの希望が与えられていることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

S・ビル・ジメネッツ  
カリフォルニア州 サンフランシスコ

6月28日(木)

## すべてに時あり

聖書朗読 伝道者の書 3:1~12

いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、葉が出てくると、夏の近いことがわかります。マルコ 13:28

あなたの一番好きな季節はいつですか。神様の恵みが満ち溢れているように感じられる夏もいいですね。果物や野菜が豊かに実り、あの柔らかな果汁たっぷりの桃が待ちきれなくなります。けれども、私の一番のお気に入りには、木々の葉が落ち始めて、秋が間もなくやってくる、そんな季節です。

木々の葉は美しく色づき、やがて落ち始めます。種子が地面に落ち、木の葉などに覆われて冬の間の備えし、春に向けて、新芽が芽吹く準備をします。

木々の葉は、私たちの人生のように思いませんか。人は生まれ、この世の人生を送り、死んでいきます。神様はすべてのことに順序を定められました。人生の季節を恐れてはなりません。私たちは人としてこの世の生涯を終え、やがて天国で再び生きるのです。

伝道者の書に記された季節のうち、「希望が持てない」と記された箇所はひとつもありません。この地上で終わりを迎えることは即ち、神様とともに歩む新しいのちに近づいたということなのです。主にあって、私たちは輝かしい永遠のいのちが保証されているのです。

讚美歌 405

祈り 親愛なる主よ。私たちの命の犠牲として、あなた様の御子が死んでくださったことを理解できるようにしてください。私たちを強くする人生の試練に耐えることができるようにしてください。あなた様を愛します。この世の季節が最期を迎えたとき、あなた様とともにいることを願います。

イエス様のお名前によって。アーメン。

レイチェル・リップンコット  
カリフォルニア州 テュラレ

6月29日(金)

## 民に慰めを

聖書朗読 イザヤ 40:1~5

悲しむものは幸いです。その人たちは慰められるから。マタイ 5:4

魂が疲れ果て、困難な道を転がり落ちていくように思われるある女性がいました。私は何も言わずに、彼女の手を握ってそばに座り、自分は無力だと感じながら、ただ黙って彼女の心が慰められることを祈るばかりでした。やがて時が経ち、彼女は私にこう言って感謝の気持ちを伝えてくれました。「一緒にそばにいて、私を気にかけてくれる誰かがいることに気づかされ、そのことが本当に慰めとなりました。それによって、何とか困難を切り抜けることができました」と。パウロが受けた喜びは、『気落ちした者を慰めてくださる神』（コリント7:6）からいただいた慰めでした。

愛する人を亡くして心を痛めている人に、「なんと言ってあげたらよいかわからない」と思うでしょう。けれども、実は彼らに言葉は要らないのです。ただ彼らとともに悲しむことが慰めとなるのです。ローマ12:15にはこのようにあります。『喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。』

ただそばに寄り添ってあげる事が何よりの慰めなのです。母親のキスは子どもの痛みを和らげるでしょう。母親の慰めが他に代わるものがないように、父なるお方の愛ほど私たちを慰めてくださるお方は他にないのです。私たちはみな、ちょっとしたかすり傷であろうと、深い心の傷であろうと、慰めを必要としています。神様こそ、その慰めをお与えになるお方なのです。詩篇23篇にこのことが保証されています。『あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。』

讚美歌 第二編 249

祈り 親愛なる主よ。私たちがあなた様の民を慰めることによって、あなた様に栄光を帰すことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ガイネル・トーマス  
ニューメキシコ州 ポータレス

6月30日(土)

## 希望の礎

聖書朗読 イザヤ 40:21~31

わたしを待ち望む者は恥を見ることがない。

イザヤ 49:23

イザヤは旧約聖書の時代に、「良い知らせを告げる者」でした。救い主がこの地上に来られるずっと以前の窮乏と迫害の時代、イザヤは彼に聞き従う者たちをこう勇気付けます。「鷲の翼の上で痛みを覚えていると思いなさい。主にあって希望があるのだから」と。30節にあるように、主を待ち望む彼らは、この地上においてさえ、躓くことがあっても、走ったり歩いたりする力が秘められているのです。

鷲は、その強さと翼の威力、何時間も空中を飛んでいられる能力で知られています。また獲物を引き裂く獰猛さでも知られていますが、同時に、巣にあるひなたちに見せる優しさもよく知られているところです。

私たちには、絶えずご自身にのみ希望を抱き、必要なものはすべて備えられると確信するよう勇気づけてくださる神様がおられます。揺らくことのない希望の礎をもって、神様が私たちを引き上げてくださるその高さを思うことは、何とわくわくすることでしょう。

*鷲の翼にのって私たちは高く舞う*

*そこでは罪の意識にもう苛まれることはない*

*天の御国が私たちの魂に近づき*

*私たちの魂を迎え入れてくださる*

*慈しみのあるところに栄光の冠がある*

————— ヒュー・ストーウェル

聖歌 329

祈り 全知全能のお父様。あなた様のみことばを感謝します。あなた様が私たちにお与えくださった大切なメッセージを、より深く理解することができますように。もっと時間を取って、あなた様をより深く知り、希望をもつことができるようにしてください。あなた様の御子を通して私たちが強めてください。アーメン。

ノーマ・ブリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

7月1日(日)

## 語られる神

聖書朗読 イザヤ 53:1~10

イエスが彼らの目の前でこのように多くのしるしを行われたのに、彼らはイエスを信じなかった。それは、「主よ。だれが私たちの知らせを信じましたか。また主の御腕はだれに現されましたか」と言った預言者イザヤのことばが成就するためであった。  
ヨハネ 12:37~38

預言の成就により、神様の語られたことが明らかにされます。イザヤはイエス様がお生まれになる700年も前に生きた人ですが、イエス様が、人々から不信感を抱かれ、拒絶されるご経験をなさるということを預言しています。また、イエス様が悲しみをよくご存知であること、周りの人々に対して憐れみの心を持っておられることについても次のように預言しています。『彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。』（イザヤ53:3,4）。さらに、『彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され』（イザヤ53:5）、『ほふり場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。』（イザヤ53:7）、『彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富むものとともに葬られた。』（イザヤ53:9）

こうしたイザヤの預言は、実際に起こったこととして新約聖書に記されています。拒絶については、『群集を惑わしているのだ。』（ヨハネ7:12）、咎められても黙っておられたという箇所については、『訴えがなされたときは、何もお答えにならなかった。』（マタイ27:12）、彼の墓は悪者どもとともに設けられ、富むものとともに葬られたという箇所は、『イエスといっしょに二人の強盗が、ひとりは右に、ひとりは左に、十字架につけられた。』（マタイ27:38）、『アリマタヤの金持ちでヨセフという人が来た・・・この人はイエスのからだの下げ渡しを願った・・・自分の新しい墓に収めたる』（マタイ27:57~60）という箇所に示されています。

まさしく預言は成就したのです。イエス様は『聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれた。』（1コリント15:3）のです。神様以外の誰がこの出来事を知り、伝えることができたでしょう。神様以外には誰もいません。

讚美歌 453

祈り お父様。あなた様の尊いご契約が成就されていることを心から受け入れ感謝を捧げます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ハロルド・シモンズ

テネシー州 ナッシュビル